

2026年度 第23期
特定非営利活動法人シャロームの会
事業計画（案）

今年度も、当会の理念であります「人間は病気であってもなくてもそのままが素晴らしい存在（シャローム）」であることを根底に置き、一人一人の大切な個性と限りない可能性に大いなる希望を抱きながら、弱い人の立場に添った共生社会の実現を目指し、下記の事業を実施していきます。

1. 障がい者福祉事業の安定的、継続的な運営体制を構築して、メンバー一人ひとりに寄り添い「伴走型支援」を通して自立を助ける。

- (1) 相談支援事業所、B型事業所、生活訓練、就労定着支援、多機能型支援事業所としての役割をさらに深め、担っていきます。
- (2) 各B型就労支援事業所の工賃向上を図ります。
- (3) 経営の安定化を図るために、会計上の収益を定期的に点検、検討していきます。
- (4) ケア会議、メンバーカウンセリング、職員会、研修会を通してメンバーの支援を深めていきます。
- (5) 全体会、交流会、各種レクリエーション等を通して、メンバー同士の絆を深めていきます。
- (6) オリーブサロン、支援者異業種交流会を通して、チャレンジドの方々への理解と支援の輪を広げていきます。
- (7) 精神障がい者の雇用義務化を大いなるチャンスととらえ、メンバーの社会的自立のための伴走型支援を行っていきます。
- (8) 理事会・会員交流会等の支援組織体制の強化を図ります。
- (9) 事務局、職員の組織体制の強化を図ります。
- (10) 他の福祉事業所並びに支援企業、団体との交流と支援協力体制を構築していきます。
- (11) スタッフ横断チーム（会計、研修、授産、行事、広報、地域の6チーム）の連携強化、情報共有を徹底し、法人活動の活性化を図ります。

2. 企業型主導型保育事業の経営の安定化を図るとともに、少子化対策の対応も図る。

3. 地域共生事業の促進を図る。

- (1) 「まざらいん食堂」「あがらいん食堂」「こどもレストラン」の開催により地域住民、各年齢層との交流を広めることにより、地域共生事業を促進していきます。
- (2) 不登校、ひきこもり、就労困難な方々が集う「居場所」「出場所」をつくります。

4. 法人30周年に向けての活動

- (1) 法人22周年の歩みを振り返る「事業検討チーム」を立ち上げ、当会の長所をさらに深め、事業を実施していく。
- (2) 10年長期計画策定のチームを設置して、地域共生のための事業を検討していく。